

(別記様式3)

指定管理者による公の施設の管理運営状況(令和7年度分)

施設名	伊香保森林公園・憩の森	所管課	環境森林部森林局林政課
指定管理者名	グリーンクラフトマン株式会社	指定期間	3 年
利用料金制	☐ 導入 ☐ 一部導入 ☒ なし		R6.4.1 ~ R9.3.31

※利用料金制とは施設の利用に係る料金を指定管理者の収入として収受させる制度。「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設

1 施設の概要

施設所在地	群馬県渋川市伊香保町伊香保
指定管理業務内容	(1) 森林公園の施設等の使用の承認等に関する業務 (2) 森林公園の施設等の使用の承認の取消し等に関する業務 (3) 森林公園の休館日の変更等に関する業務 (4) 森林公園の開館時間の変更に関する業務 (5) 森林公園内における樹木、施設及び付属施設の維持管理に関する業務 (6) 森林公園のホームページ運営に関する業務 (7) 群馬県立森林公園憩の森を活用した森林環境教育に関する業務 ・森林学習展示館の展示・管理及び自然工作体験サービスの提供 ・自然講座の開催 年4 回 ・森林観察会 年9回 (8) 森林ボランティア支援センターの運営 ・森林ボランティア体験会 年3 回 ・森林ボランティア安全講習会 年4回 ・森林整備作業器具の貸出し及び器具のメンテナンス・更新 ・森林ボランティア支援センターのHP の運営、冊子「森林ボランティア通信」年1 回 ・その他、森林ボランティア活動支援に資する活動支援 (9) その他、森林公園の管理に関する事務のうち、知事が別に定める業務

2 職員の状況(令和7年4月現在)※主に指定管理業務に従事する職員数

通常(フルタイム)の職員:	2 人	
短時間雇用の職員:	3 人	合計: 5 人

3 収支の状況(令和7年度決算額)

(円)

収 入		支 出	
指定管理料	28,000,000	人件費	17,470,750
		委託料	903,575
		光熱水費	1,418,578
		租税公課費	1,141,220
		その他(維持管理費、事務費)	10,092,746
収入合計	28,000,000	支出合計	31,026,869

※指定管理者の指定管理業務等及び自主事業に係る収支を記入(指定管理者団体全体の収支ではない。)

4 利用の状況

	令和7年度(実績)	(参考)令和6年度(実績)	(参考)令和5年度(実績)
①年間利用者数(人)	43,729	83,350	61,849
②使用料収入(円) (県納付額)	10,680	0	5,340
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	0	0	0

5 施設における実施事業の状況

事業・イベント名	開催日	参加者数	内容	参加者の感想等
自然講座第1回	10月18日	9	挿し木	丁寧な解説により、植物の見え方が変わった。
自然講座第2回	10月25日	15	植物成分抽出(シラビソ)	精油づくりの工程を体験でき、貴重な経験になった。
自然講座第3回	11月15日	講師体調不良のため中止	晩秋の植物とニッ岳火山をみるハイキング	
自然講座第4回	11月29日	12	植物原料で作るクラフトキャンドル	講師の解説により、ロウソクの性質への理解が深まった。
自然講座第5回	12月20日	11	門松作りに挑戦しよう	正月に向けて、いい体験になった。
森林観察会第1回	4月5日	12	春の花と桜	樹木1つ1つについてのエピソードを知ることができた。
森林観察会第2回	5月17日	6	初夏の林床に咲く花	講師の解説により、植物を新たな視点で見られた。
森林観察会第3回	6月15日	10	虫こぶの観察会	昆虫による植物利用の実態について、理解が深まった。
森林観察会第4回	7月12日	8	植物の香り	香りの仕組みについて、丁寧な解説を聞くことができた。
森林観察会第5回	8月2日	9	人々の生活と植物	生態系の基礎を学ぶことができた。
森林観察会第6回	9月21日	5	草木の種	種子の構造、繁殖の方法などとても面白く感じた。
森林観察会第7回	10月4日	13	“憩の森”で「ジオ」・「エコ(自然)」の観察会	範囲の広い解説で、資料も的確だった。
森林観察会第8回	11月1日	7	樹木の冬支度	冬芽が沢山見られた。
森林観察会第9回	12月14日	9	木樹の冬姿	季節によって変わる木々の姿を知ることができた。
森林ボランティア体験会第1回	9月27日	8	草刈り鎌 下草刈り鎌(大)の体験	初心者にもわかりやすい説明だった。
森林ボランティア体験会第2回	11月8日	10	草刈り機体験	庭の手入れに役立つ情報が多かった。
森林ボランティア体験会第3回	11月22日	17	チェーンソー体験	チェーンソーを購入する際の参考になった。
森林ボランティア体験会第4回	12月13日	12	草刈り機・チェーンソー体験	ボランティア育成後の活動についても教えてほしい。
森林ボランティア安全講習会第1回	9月27日	8	草刈り鎌・下草刈り鎌の使い方・研ぎ方・手入れ方法の講習会	草刈り機や鎌について、手入れ方法等を理解できた。
森林ボランティア安全講習会第2回	11月8日	10	草刈り機の安全講習会	自己流で作業していたが、無駄があったことに気づけた。
森林ボランティア安全講習会第3回	11月22日	17	チェーンソーの安全講習会	ニッチな話も聞けて勉強になった。
森林ボランティア安全講習会第4回	12月13日	12	草刈り機・チェーンソーの安全講習会	実演により、新しい技を学ぶことができた。

6 利用者満足度調査等の結果及び対応状況

(実施期間)

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(実施方法・回収率等)

伊香保森林公園管理棟にアンケート用紙と回収箱を設置。

週1回の頻度で回収。回答数:16件

(項目別回答集計)

- (1)性別 男44%、女31、未回答25%
- (2)年齢 20歳未満0%、20歳代7%、30歳代0%、40歳代6%、50歳代6%、60歳以上81%
- (3)居住地 県内50%、県外44%、未回答6%
- (4)交通手段 自家用車82%、徒歩12%、バス・タクシー6%、自転車0%、バイク0%
- (5)利用頻度 月1回25%、半年に1回19%、年1回31%、数年に1回6%、初めて6%、未回答13%
- (6)認知方法 友人25%、新聞・ネット19%、通りすがり13%、リピート6%、近くだから6%、未回答31%
- (7)利用目的 散策27%、自然観察23%、登山18%、休憩14%、ドライブ5%、写真撮影4%、未回答9%
- (8)満足度 満足50%、普通31%、不満6%、わからない0%、未回答13%
- (9)清潔さ きれい44%、普通37%、汚い0%、わからない6%、未回答13%
- (10)再度の来園 利用したい75%、機会があれば利用したい12%、利用したくない0%、未回答13%

(利用者からの意見等)

- ・つつじが丘休憩所の眺望を良くしてほしい。
- ・つつじが丘休憩所にベンチを増設してほしい。休日は来園者で埋まっていて使えない。
- ・園内のトイレや水道について、使用休止中になっている場所があった。
- ・トイレが清潔に管理されていた。

(調査結果分析)

年齢構成をみると高齢者が約8割を占めており、利用者の中心は高齢者層であった。

老朽化した施設についても、修繕・更新を求める声があった。

また、自然講座や森林観察会の参加者からは、イベントの継続を希望される声も多くあった。

(調査結果への対応状況)

老朽化した施設については、施設を所管する県担当者へ報告・要望するとともに、修繕や撤去の際には立ち会い、施設管理者として適切な対応を行った。

(その他苦情・要望等及びその対応状況)

つつじが丘休憩所については、草木が繁茂し眺望を阻害していたため、刈込みを実施した。

注) 項目は例示であり、調査等の状況に応じて、任意様式で同様の内容を記載して構わない。

7 管理運営状況の評価（A:優良、B:良好、C:要努力、D:要改善）

評価項目	総合評価	評価の考え方	評価できる事項及び改善すべき課題
総合評価	C	施設の管理及び整備についておおむね良好であり、管理の省力化・省エネ化に取り組んでいる。 一方で、事務処理をはじめとした管理運営体制や情報発信については、改善が望まれる。	<評価できる事項> 人感センサーを導入し、節電・節水を進めており、効率的な管理ができている。 <改善すべき課題> ・各イベント及び森林ボランティアの情報発信について、不十分となっている。 ・事務処理体制については、適切な人員配置のもと、書類の正確な作成及び期限内提出の徹底が望まれる。 ・森林ボランティア支援センター事業について、内容の改善に努められたい。

（個別項目ごとの評価）

評価項目	評価
平等利用の確保	B
サービスの提供内容	C
管理費用の執行状況	C
管理運営体制	C
法令遵守等	C
労働条件評価の実施	無

評価項目	評価
利用者対応	B
地域貢献	B
環境問題への取組	B
防災対策及び緊急時の対応	B
個人情報保護及び情報公開	C

（参考）指定管理者の自己評価及び評価委員会の年度評価結果

	総合評価	評価の考え方
指定管理者の自己評価	B	照明のLED化やトイレの自動水洗化を導入するなど、節電・節水に取り組んでいる。また、トイレは清潔な状態が維持されており、来園者から好評を得ている。
評価委員会の年度評価	B	施設の管理及び整備についておおむね良好だが、広報に課題があり改善が望まれる。

注）「個別項目ごとの評価」の評価項目は、施設及び利用の形態に応じて、選定時の審査項目、仕様書・事業計画等と整合性を持った項目を設定する。